

令和7年度

教育委員会定例会
(6月)

令和7年6月5日(木)

鹿屋市教育委員会

会 議 日 程

日 時 令和 7 年 6 月 5 日（木） 午後 3 時

場 所 教育長室

1 開 会

2 前回議事録の承認

3 教育長及び委員の報告

4 議 事

- （１）議案第 7 号 鹿屋市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について （P 2）

5 報 告

- （１）鶴峰小学校閉校記念事業実行委員会設立総会について （P 4）
（２）令和 7 年度鹿屋市総合防災訓練への参加について （P 5）
（３）青少年育成市民会議について （P 6）
（４）第 42 回大会中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会への参加について （P 7）
（５）図書館まつりについて （P 8）
（６）市民講座・高齢者大学について （P 9）
（７）楽団プロジェクトコンサート「宮沢賢治と音楽の世界」について （P 10）

6 動議の討論等

7 その他

鹿屋女子高「学校要覧」について

8 閉 会

議案第 7 号

鹿屋市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

鹿屋市教育委員会の行政組織等に関する規則（平成18年鹿屋市教育委員会規則第 2 号）第10条の規定に基づき、別紙のとおり会議に付議する。

令和 7 年 6 月 5 日提出

鹿屋市教育委員会
教育長 中野 健作

（別 紙）

（提案理由）

鹿屋市学校給食センター条例第 5 条第 3 項及び同条例施行規則第 12 条に基づく委員を新たに委嘱したいため、本案を提出するものである。

令和7年度 鹿屋市立学校給食センター運営委員（案）

※委嘱根拠：第1号(学校長)、第2号(PTA代表者が推薦)、第3号(学識経験者)

1 任用期間：令和7年7月1日から令和8年6月30日までの運営委員

○鹿屋市立南部学校給食センター運営委員

番号	氏名	新任	役職名	委嘱根拠(施行規則)
1	米村 英紀	○	野里小学校 校長	第12条第1号
2	徳永 寛隆	○	田崎小学校 校長	第12条第1号
3	森山 新二	○	東原小学校 校長	第12条第1号
4	川原 敏幸	○	第一鹿屋中学校 校長	第12条第1号
5	上木 勝憲	○	鹿屋小学校 校長	第12条第1号
6	太田 寛了	○	野里小学校 PTA代表	第12条第2号
7	笹原 夏奈	○	田崎小学校 PTA代表	第12条第2号
8	池田 友美	○	東原小学校 PTA代表	第12条第2号
9	小川 阿弥	○	第一鹿屋中学校 PTA代表	第12条第2号
10	村江 望	○	鹿屋小学校 PTA代表	第12条第2号
11	馬場 さゆり		管理栄養士	第12条第3号
12	末吉 申弥		学校薬剤師	第12条第3号
13	善福 博之		鹿屋保健所 衛生・環境課長	第12条第3号
14	寺田 文子		鹿屋市 健康増進課 保健師	第12条第3号

○鹿屋市立北部学校給食センター運営委員

番号	氏名	新任	役職名	委嘱根拠(施行規則)
1	伊藤 太	○	寿北小学校 校長	第12条第1号
2	関戸 達哉	○	鹿屋東中学校 校長	第12条第1号
3	向吉 晴美	○	大黒小学校 校長	第12条第1号
4	田之上 由美	○	細山田中学校 校長	第12条第1号
5	中津 朋広	○	寿小学校 校長	第12条第1号
6	森山 正樹	○	寿北小学校 PTA代表	第12条第2号
7	的場 久美子	○	鹿屋東中学校 PTA代表	第12条第2号
8	坂下 明喜久	○	大黒小学校 PTA代表	第12条第2号
9	原之園 美沙樹	○	細山田中学校 PTA代表	第12条第2号
10	今村 和也	○	寿小学校 PTA代表	第12条第2号
11	原田 学		学校薬剤師	第12条第3号
12	上宮田 優子		管理栄養士	第12条第3号

○鹿屋市立吾平学校給食センター運営委員

番号	氏名	新任	役職名	委嘱根拠(施行規則)
1	仲村 智博		吾平小学校 校長	第12条第1号
2	田中 かおり		鶴峰小学校 校長	第12条第1号
3	早崎 雄一郎		下名小学校 校長	第12条第1号
4	上村 勉	○	吾平中学校 校長	第12条第1号
5	神田 忠博	○	吾平小学校 PTA代表	第12条第2号
6	兒島 顕	○	下名小学校 PTA代表	第12条第2号
7	上拂 雄太		鶴峰小学校 PTA代表	第12条第2号
8	安達 正	○	吾平中学校 PTA代表	第12条第2号
9	松元 愛佳		吾平小学校 給食担当者	第12条第3号
10	網屋 恵利子	○	吾平中学校 給食担当者	第12条第3号
11	井料 忠久		学校薬剤師	第12条第3号
12	貴島 正勝		吾平地区民生委員児童委員協議会会長	第12条第3号

報告(1) 鶴峰小学校閉校記念事業実行委員会設立総会について

(教育総務課)

1 設立年月日

令和7年6月3日(火)

2 目的

本会は、令和7年度末をもって閉校することとなる鹿屋市立鶴峰小学校の閉校に係る各種記念事業を円滑に推進することを目的とする。

3 事業

- (1) 閉校式典、閉校記念行事、閉校記念碑、閉校記念誌に関すること
- (2) その他、目的達成に必要なこと

4 委員

34名(鶴峰小学校区に在住する住民、鶴峰小学校PTA及び鶴峰小学校の卒業生、鹿屋市並びにその他の個人等の中から目的に賛同する者)

5 主な役員及び専門部

実行委員長：木浦道春(元PTA会長)

副実行委員長 鶴峰東・中・西の各町内会長、学校長、PTA会長

総務・記念碑部、記念誌部、記念行事部

6 予算

総額 1,701,000円

歳入内訳：鹿屋市負担金800,000円、町内会補助金 300,000円、寄附金 600,000円

歳出内訳：総務費332,000円 事業費(記念碑等) 1,359,000円

7 事業計画

- (1) 寄附金 令和7年6月から依頼
- (2) 記念碑 令和8年2月完成予定
- (3) 記念誌 令和8年4月納品予定
- (4) 記念行事 令和7年10月26日(日) 小学校運動会
令和8年3月1日(日) つるみねフェスティバル
- (5) 記念式典 令和8年3月1日(日)

報告(2) 令和7年度鹿屋市総合防災訓練への参加について

(学校教育課 鹿屋看護専門学校)

1 日時等

- (1) 日 時 令和7年5月16日(金)午前9時から正午まで
- (2) 場 所 鹿屋市武道館周辺
- (3) 参加者 2年生32名(男子6名・女子26名)

2 参加内容

- (1) 車両事故救出訓練
- (2) 家屋生き埋め者救出訓練
- (3) 救護活動訓練

3 訓練参加の様子



救急隊や消防団に搬送され、現場の状況をリアルに体験する要救助者役の学生



DMA T 隊員に症状確認を受ける学生たち



【参考】防災指導専門員の指導を受けながら
「避難所運営ゲーム」に取り組む様子
(4/28)

4 訓練に参加した学生の感想 (FMかのやのインタビューから)

- ・ いろいろな職種の方が連携して、災害に対応しているのを見て、自分に何ができるかっていうのを考えさせられました。
- ・ DMA Tの方々の話を聞き、現場で働くところを見て、健康問題への理解を深めるとともに、看護の役割を学ぶことができました。

報告(3) 令和7年度鹿屋市青少年育成市民会議総会・研修会について

(生涯学習課)

1 目的

青少年の健全育成に対する市民の関心を高め、取組を充実するために、青少年健全育成に寄与する機関・団体等の情報交換を行い、互いの連携を強め、市民総ぐるみで次代を担う青少年の健全育成を推進する。

2 開催日時、場所

令和7年5月14日(水) 10:00～11:30 鹿屋市役所7階大会議室

3 構成機関・団体

31団体(参加:19団体)

4 協議、決定した主な内容(令和7年度の新たな取組)

(1) 実務者連絡会

- ① 目的 構成団体間での情報共有及び連携強化を図るため
- ② 回数 年3回(春と夏と強調月間の郷土(ふるさと)に学び・育む青少年運動の期間前に開催)

(2) 実践事業

- ① 事業名 『鹿屋市青少年育成市民会議が届ける・サマーベースキャンプ』
- ② 目的 メディアから離れた生活の中で規則正しい生活とともに、人とのよりよいコミュニケーションの取り方を学び、自己肯定感や自己有用感を存分に高めていく。
- ③ 期 日 8月3日(日)～9日(土) 6泊7日
- ④ 場 所 国立大隅青少年自然の家
- ⑤ 対 象 小学5年生～高校3年生 24人

5 研修会

- (1) 内容 郷土(ふるさと)に学び・育む青少年運動の取組について
- (2) 講師 鹿児島県総務部男女共同参画局青少年男女共同参画課
課長 白男川 正守 氏
- (3) 時間 35分間(リモートによる講話)

6 開催の様子



総 会



研修会



報告(4) 第42回大会中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会への参加について
(生涯学習課)

1 大会テーマ

「人づくり」こそが未来を創る～「現代教育の忘れもの」を問う～

2 期 日 令和7年5月17日(土)～18日(日)

3 会 場 福岡県立社会教育総合センター

4 事例発表(鹿屋市) 発表者: 社会教育係主査 中村明博

(1) タイトル:

「市子連」と「市教委」が 両輪となった
空前絶後の子ども会活性化策

(2) 発表概要

ア 市子連の活動: 助成金制度、出張支援事業(市子連ジャー)等

イ 市教委の活動: 手引き作成、育成会支援、子ども会新設

ウ 今後の企み: 加入率100%、超絶怒涛の鹿屋市

(3) 会場の様子



開会行事の様子
代表世話人等登壇



分科会にて鹿屋市の発表
みなさん興味津々



鹿屋の取組に質問多数
司会席には 宇井課長

5 所 感

昨秋、沖縄で行われた全国子ども会育成連絡協議会大会で本市の取組(市子連と連携したKOKAプロジェクトの推進)を発表した縁で、今回発表することとなった。

本会は、生涯教育というくくりで、子ども会に限らず、地域の中で様々な実践をされている方々の集まりであり、子ども会を知らない方々もいらっしゃったが、本課職員の説明に大きくうなずいたり、メモをとったりしがら聞いてくださり、本市の想いが十分伝わったように感じることもあった。

特に市子連の取組では、助成金制度「わくわくチャレンジお助け金」や、直接支援「市子連ジャー」についての説明が県外の参加者には好評であった。また、市教委の取組では「子ども会新設」の取組に参加者からの反応が大きく、何より、市子連と市教委の連携が図られていることに多くの参加者から羨ましいとの声をいただいた。

今回の発表及び意見交換をとおして、本市の取組は全国的にも胸を張れるものであることと、まだまだ発展途上であることを改めて自認することができた。30年後、超絶怒涛の鹿屋市となるよう、今後の子ども会を更に活性化させていきたい。

1 目的

各種イベントを通じて図書館が大人から子どもまで楽しめる施設であることをPRし、今後の来館者増へつなげていく。

2 開催日時

令和7年5月1日(木)～5月11日(日)

3 概要

イベント内容	期 日	参加料	参加者数
ブックリサイクル	5月1日(木)～ 11日(日)	無料	1,965人 子ども389人 大人1,576人
緑陰おはなし会	5月4日(日・祝)	無料	6人 子ども3人 大人3人
バルーンアート教室	5月11日(日)	無料	28名 子ども16人 大人12人
来場者計	1,999人 子ども 408人 大人 1,591人		

4 所感

昨年、連休期間は地域で他の催し物が重なるため来館者が少なくなりイベント参加者も少なくなったとの反省があった。

それを踏まえてブックリサイクル期間を長く取り(昨年度期間中8日開館→今年度期間中10日開館)、バルーンアート教室は期間の最終日とした。

子ども映画会を4月春休みに移動したため、イベント数は減少したが、ブックリサイクルへの参加者は増加している。

ブックリサイクルには開催前になると利用者からの寄贈本も増え、利用者にもイベントが浸透していると感じている。

次年度は連休期間中でも利用者が参加しやすいイベントの検討、開催日の調整を進め、広く市民が参加できる図書館まつりとしていきたい。

5 イベント状況



ブックリサイクル



緑陰おはなし会



バルーンアート教室

報告(6) 市民講座・高齢者大学について

(生涯学習課)

○市民講座 (13 館で 99 講座実施)

すべての市民を対象に、生涯学習に対する啓発を図り、地域における生涯学習社会づくりを実現するため、市民のニーズに応じた講座を開設する。(年 8 回)

	館 名	講座数	申込人数	決定数	前年度比
1	中央公民館 (リナシティかのや)	8	172	145	-143
2	高隈地区交流促進センター	3	36	18	6
3	花岡地区公民館	5	59	54	22
4	高須地区学習センター	5	47	47	2
5	大始良地区学習センター	6	63	63	-11
6	田崎地区学習センター	8	122	111	3
7	西原地区学習センター	12	201	179	75
8	東地区学習センター	14	259	229	-5
9	コミュニティセンター吾平振興会館	14	219	219	-9
10	輝北コミュニティセンター	6	63	63	15
11	串良公民館	7	78	74	9
12	串良公民館細山田分館	5	64	61	6
13	串良公民館上小原分館	6	61	61	-7
	合 計	99	1,444	1,324	-37

○中央公民館 (リナシティかのや) リカレント講座

芸術・伝統文化・食文化などを「極める」「高める」「深める」をキーワードに市民に学びの場を提供する。(年 10~17 回)

	館 名	講座数	申込人数	決定数	前年度比
1	中央公民館 (リナシティかのや)	12	278	219	-19

○高齢者大学 (11 館で実施 ※2 館は他館と合同実施)

65 歳以上の高齢者を対象に、豊かな生きがいのある生活をめざし、自ら主体的に学習課題に取り組む機会を提供するとともに、地域づくりのための連帯感を養い、高齢者の社会参加の機会を支援する。(年 8~10 回)

	館 名	決定数	前年度比
1	中央公民館 (リナシティかのや)	85	-1
2	高隈地区交流促進センター	15	-4
3	花岡地区公民館	45	0
4	高須地区学習センター※	35	-
5	大始良地区学習センター※	60	-
6	田崎地区学習センター	21	3
7	西原地区学習センター	38	3
8	東地区学習センター	35	-8
9	コミュニティセンター吾平振興会館	36	13
10	輝北コミュニティセンター	28	-2
11	串良公民館 (2 分館含む)	29	0
	合 計	427	4

※高須と大始良については、R6 年度は講座の都度募集

1 目的

地域の音楽家の活躍の場を提供するとともに、市民に広く音楽や音楽の新たな展開に触れてもらい、芸術文化に親しむ機会の提供を行う。

【鹿屋市文化会館楽団プロジェクト】

令和2年度にスタートした大隅在住の音楽家による地域発の音楽の展開を図るプロジェクト。鹿屋市文化会館でのコンサートや地域のイベントなどで上演を行っている。

○出演

宮内 美歩(フルート/ピッコロ)、佐藤 志織(ヴァイオリン)

坪山 敦子(ヴィオラ)、中村 剛(チェロ)、樋園 亮(ピアノ)

2 開催日時・場所

令和7年6月1日(日) 15:30 開演 リナシティかのや ホール

3 概要

○タイトル 楽団プロジェクトコンサート第三楽章 宮沢賢治と音楽の世界

○内容等

イベント内容	参加者数
宮沢賢治の作品に関連する音楽の演奏、音楽に合わせた詩の朗読 ほか	276名



4 所感

文化会館が休館中のため、リナシティかのやでの実施となった。参加者数は276名であったことから、リナシティかのやのホール(400席)がイベント規模として適切であったと考えられる。毎年新しい取り組みにチャレンジしていることから、取組ごとに動員数にバラつきが見られるが、活動を通してニーズの把握や取組のアイデア創出につながるものとなることが想定される。

大隅地域在住の音楽家による取り組みであり、自主文化事業にふさわしいプロジェクトとして、今後も活躍を期待する。